

国保税資産割を廃止、大幅値下げへ

御代田町は、国保税のうち「資産割の全廃」と「医療給付費分平等割の2000円下げ」による大幅値下げの方針を固め、1月12日、町の国民健康保険(国保)運営協議会に諮り、可とする答申を受けました。今後議会に諮りご議論いただいた上で新年度から値下げする予定です。

公的医療保険は、75歳以上が「後期高齢者医療保険」に加入する一方、75歳未満だと、給与所得者等やその家族は組合健保や協会けんぽなどの「被用者保険」に入り、それ以外の自営業者や無職のかたは市町村の国保に加入します。給与所得者でも退職後は国保に移行しますので、国保税の金額は、特に60～75歳の皆さんに大きなインパクトを与えることとなります。

もともと今年度は、これまで固定資産税の31.5%(医療給付費分+後期高齢者支援分+介護納付金分)と定めていた「資産割」を、4.5ポイントずつ下げて令和9年度に廃止する予定とし、今年度が値下げ1年目でした。段階的廃止とした理由は、町の国保から県の国保に支払う納付金の事前の算定が困難であり、新型コロナウイルス感染症の影響で課税所得が減少する可能性もあり、資産割をただちに廃止してしまうと後々資金が不足するおそれがあったからです。この1年間、さらに様子見した上であらためて保健福祉課に分析をしてもらった結果、ただちに廃止しても問題ないことが判明しました。一時的な収入不足や支出増が起きてもこれまで貯めた基金が3億円以上ありますので、運営が行き詰まることはないと考えました。

また、もともと資産割がかかっているかたにも値下げの実感を得ていただくべく、世帯にかかる医療給付費分平等割を2万7000円から2万5000円に下げます。

資産割については課税の公平性の観点で劣ると指摘するかたが多く、これまでたびたび議論となってきました。数字を精査した上で廃止の方針を打ち出すことができ、ホッとしています。今後さらに、国保税に限らず町民の負担をどうカバーしていくか、分析、議論を続けてまいります。

Shin ri shi
心 理 師

Vol.12

「心理検査はこわくない!? パート2」

岡 本 直 人
Oka moto Nao to



町の心理師、岡本です。

今回は「心理検査」についてのお話パート2です。心理検査の概要については、広報やまゆり359号(令和3年6月号)のコラムで取り上げていますので、よろしければ町のホームページでご確認ください。

さて、ここ最近、心理検査の依頼が増えています。時期的な要因もありますが、それとは別に、依頼主の幅が広がったことも要因だと考えられます。もう少し詳しく言うと、保護者からの依頼が増えてきました。これまでは学校や園の先生から保護者へ提案して頂き、そこで同意を得てから心理検査を実施することがほとんどでした。最近では逆に、保護者から学校や園のほうへ心理検査の希望を伝え、実施に至ることも出てきました。

このように学校や園からだけでなく、保護者あるいは家庭のほうから心理検査のオーダーがあり、それが実現できるということは、これまた教育支援として御代田町のカッコいいところだと思います(依頼する方々が)。町で心理検査を受けることは決して珍しいことではないので、「ちょっと気になることがある」「単純に興味がある」くらいでも構いません。ドシドシご依頼ください。

しかし、ここで1つ問題が! 心理検査は、実施→データ処理→解釈→所見作成→報告という複数の作業をこなす必要があるため、意外と手間がかかる業務なのです。そのため、このコラムの影響で、もっともっと心理検査の依頼が増えてしまったら…。いや、そう考えるのは野暮でしょう。心理検査の依頼が増えているこの時期こそ、あえてお知らせした次第でした。ご依頼、お待ちしております。

問い合わせ先 教育委員会学校教育係(32)9100



Let's Keep Our Resolutions!

Happy New Year everyone! Last time I wrote about why people study English. I said I would talk about how to study English but I will leave that for another time. Because today, as this time of year is perfect for such discussion, I want to talk about new year's resolutions.

Many people start off the new year with the idea that they will make a new start and resolve to improve some aspect of their lives, whether it be a diet, exercise, personal relationships or work. I think it is a great time for a fresh start. Unfortunately, these resolutions are often associated with their attendant failure. It is a shame they don't seem to work. Why might that be? Although I don't claim to be a psychologist, I do spend a lot of time thinking about motivation. Here is some advice to help you keep to your resolutions.

Take Small Steps. There is an English saying: 'Don't bite off more than you can chew'. It means 'don't do too much'. It is simple advice but it makes sense in relation to trying to establish new habits, achieving goals or any new endeavour really. Start off small and maintain the repetition. There is another saying: 'Slow and steady wins the race'. It means 'gradualism is better' I think many resolutions fail because they go too hard too fast.

Get Better at Failure. I would use the phrase: 'Play for the rebound'. (This is my own original saying so be careful if you want to use it.) It means: 'Try to carry out a course of action knowing full well that you may face setbacks or failures and with the expressed intention that you will bounce back from them.' In aiming to do this you will increase your resilience. I know I sound arrogant as I don't know your circumstances but hopefully these sayings can help you.

Have a wonderful 2022.

あけましておめでとう皆さん! 前回は英語を勉強する理由についてお話ししました。今度は英語を勉強する方法について話すと言いましたが、それはまた別の機会に残しておきます。この時期に合った話として、今日は新年の決意について話したいと思います。

多くの人は、ダイエット、運動、人間関係、仕事など、生活のある部分を改善するために新たなスタートを切り、決意を固めるという考えで新年を迎えます。新たなスタートを切る絶好の時間だと思います。残念ながら、これらの決意はよく失敗します。うまくいかないのは残念です。なぜそうなるのでしょうか? 私は心理学者であるとは言いませんが、モチベーションについて考えることに多くの時間を費やしています。決意を守るためのいくつかのアドバイスを伝えます。

小さな一歩を踏み出します。英語のことわざがあります:「噛める以上のものをかじりとるな」。「やりすぎない」という意味です。簡単なアドバイスですが、新しい習慣を確立したり、目標を達成したり、新しい試みをしたりすることに関しては理にかなっています。小さなことから始めて、繰り返しを維持します。もう一つのことわざがあります:「ゆっくりと着実に行ってレースに勝つ」。「漸進主義が勝つ」という意味です。多くの決意は、速すぎて難しくなるために失敗します。うまく「失敗」をすることです。

私はよく言います:「プレイ・フォア・ザ・リバウンド」。(これは私自身のことわざですので、使用する場合は注意してください。)[挫折や失敗に直面する可能性があることを十分に理解し、それらから回復するという明確な意図/意志を持って行動を起こすようにする]という意味です。これを行うことを目指して、回復力を高めるでしょう。あなたの状況がわからないので傲慢に聞こえるかもしれませんが、これらのことわざがお役に立てば幸いです。

素晴らしい2022年をお過ごしください。